

浜田圏域地域医療構想調整会議 議事概要

【日時】 令和元年11月18日(月) 19:00~21:00

【場所】 浜田合同庁舎 2階 大会議室

【出席者】 浜田市・江津市医師会長
医療連携推進コーディネーター
病院長ほか【浜田医療センター、済生会江津総合病院、西川病院、
西部島根医療福祉センター、山崎病院、山根病院三隅分院】
老人施設協議会会長
介護支援専門員協会会長、江津ケアマネジャー部会部会長
島根県訪問看護ステーション協会浜田支部 支部長
全国健康保険協会島根支部 企画総務部長
健康保険組合連合会島根連合会 常任理事
浜田地区・広域行政組合(事務局長)
浜田市役所(健康医療対策課長、医療専門監)
江津市役所(健康医療対策課長、地域包括支援センター長)
事務局(保健所長、総務保健部長、調整監、健康増進課長、
医事・難病支援課長、主任) 合計 32名

【議事内容】

1. 地域医療構想を踏まえたその後の状況について
 - ・令和元年度 病床機能報告
 - ・各医療機関の取組と今後の予定について
 - ・意見交換
2. 在宅医療・介護連携について
 - ・在宅医療・介護連携部会ワーキングからの報告
 - ・江津市医師会 医療連携推進コーディネーター配置事業の進捗状況
 - ・意見交換
3. 医師確保計画・外来医療計画について
 - ・意見交換

【主な意見・協議結果について】

1. 地域医療構想を踏まえたその後の状況について

- ・現状の病床数と比較すると、2025年必要病床数に近づきつつある。
- ・介護医療院への移行を視野に入れている医療機関に対して、今後の方向性等を聞く。浜田圏域では、介護医療院はない。
- ・広島県への患者流出をどう考えるか。
慢性期病床は、一定程度必要であると考えている。

2. 在宅医療・介護連携について

- ・在宅医療・介護連携ワーキングで、「広島県への患者流出」「入退院支援マニュアルの圏域版作成」「終末期に関わる連携、住民啓発」「多職種連携」について意見交換した状況を復命した。
- ・江津市医師会 医療連携推進コーディネーター配置事業の実績と成果を報告する。

<内容>

訪問診療をする医師の開拓、24時間診療についての意見交換、訪問診療と訪問看護の連携、かかりつけ医の重要性など

3. 医師確保計画・外来医療計画

- ・医師確保計画；浜田圏域は、医師少数区域でも多数区域でもない中間な圏域である。少数スポットを設定し、医師の確保が必要となる。
- ・外来医療計画；浜田圏域は外来は多数区域となる予定である。

<意見>

現状としては、医師は不足している。

医師減少より、人口減少が大きく感じている。

医師の高齢化、後継者は診療所の経営等に不安を感じている。地域医療連携法人設立により、後継者が帰りやすい環境づくりを目指している。